

聞こえの心配な乳幼児を お育ての保護者の皆様へ

「音に反応しない」「名前を呼んでも振り向かない」。地域でこのようなお子さまの子育てで悩んでみえる保護者の方は、愛知県立一宮聾学校の乳幼児教育相談をご利用ください。

「聞こえ」と「ことば」は、3歳までにその基礎が確立すると言われていきます。そのため、「聞こえ」による「ことば」の遅れに対する教育は、早ければ早いほど効果が上がります。少しでもお子さまの「聞こえ」や「ことば」に不安を抱かれましたら、ためらわずにご連絡ください。

相談は、随時無料で行っています。

▼教育相談

聞こえに関する悩みや子育てへのアドバイスを行います。

▼乳幼児教室

聞こえや聞こえによることばの障がいのあるお子さまと保護者を対象にした個別の支援を行います。
(2歳児は、週1回の集団指導も行っています。)

▼進路相談

難聴のお子さまの進路相談を受け付けています。

▼問合せ

愛知県立一宮聾学校
一宮市大和町安賀字上西之杵30
幼稚部主事又は乳幼児教育相談担当

☎ 0586・45・6000
FAX 0586・43・4462
(対象校区 尾張・海部地域)

小型充電式電池・モバイル バッテリーは回収拠点へ

小型充電式電池やモバイルバッテリーをごみや資源の収集に出すと、ごみ収集車や工場で火災が起きる原因となります。

各種リサイクルマーク



生ごみの臭い対策をしましょう

生ごみの臭いは「腐敗」が原因で発生します。腐敗は「水分」と「高い気温」で進むため、水切りと温度対策が効果的です。

生ごみは、水切りの徹底や捨てるときの一工夫で腐敗を防ぐことができます。また、生ごみは可燃ごみの約3割を占めると言われています。水切りをすることはごみの減量にもつながります。

そこで、家庭でできる生ごみの臭い対策をご紹介します。

○水切りネットなどを使って、捨てる前に水をよく絞る。

○新聞紙などの上に置き、水分を乾かす。エアコンの室外機の風に当てるのも効果的です。

○濡らさずに調理できる食材(たまねぎの皮、きのこのへた、かぼちゃのわたなど)は、なるべく濡らさない。

○新聞紙やチラシに包み、ビニールに入れ冷凍する。魚の内臓など、腐りやすい生ごみに特に効果的です。

○重曹を直接ふりかけることで、水分が吸着されます。

○お茶やコーヒーの出がらしを乾燥させて生ごみに混ぜると、臭いを軽減します。

▼問合せ 住民課環境保全グループ

☎ 28・0916

ベアテ・シロタ・ゴードン展 男女平等の思いをこめて

▼とき 7月9日(火)～31日(水)
▼ところ ウィルあいち1階情報ライブラリー

●講演「男女共同参画社会の実現に向けて」
▼とき 7月14日(日)午後2時～午後3時

▼ところ ウィルあいち1階セミナールーム1・2

▼講師 愛知県男女共同参画推進課 女性の活躍促進監 加藤尚巳氏

▼参加料 500円(当日券有り)

▼問合せ 企画課企画・広報グループ
☎ 28・0913

